

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	川西市	代表者名	越田 謙治郎
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	072-740-1141
担当者役職	主査	担当者氏名	間森新
住所	666-8501 兵庫県川西市中央町1 2-1		
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	木下 克己
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	スマート自治体やスマートシティに係る取組みの実情について、国内外の多数の実例を元にわかりやすく明示いただいた。また、データ分析の手法や事例についても、住民情報等を元にしたソーニング、SNSや位置情報等のビッグデータによる人流解析など、分析の元となるデータをどこから収集し、どのように分析し、結果をどう活用するか、といった点まで具体的に説明をしていただき、統計解析と多変量解析に基づく将来予測の手法や予測モデルの考え方などについても、職員の理解しやすい資料や図説を元に解説をいただいたことで、今回のテーマであるデータ利活用及びEBPMについての職員の理解が深まった。
アドバイザーへの要望事項	今回の支援内容を踏まえ、今後具体的な取り組みを進める際には、改めて助言等をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月1日	10時00分	12時00分	10	110
3-2. 派遣場所	会場名	川西市役所		最寄駅	川西能勢口駅
	所在地	兵庫県川西市中央町1 2-1		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	全庁的なデジタル化の計画は2020年9月に策定しているが、自治体DX推進計画に基づきデジタル・トランスフォーメーションを着実に前進させるために、EBPMの考え方に基づき各種データの分析を計画に反映させ、計画の実効力を向上させる必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	情報政策部門の幹部職員がEBPMの基礎的及び発展的な考え方や実情を理解することで、データの分析と活用を通じて市のデジタル・トランスフォーメーション推進計画である「川西市ICT総合戦略」をさらに進捗・発展させる体制を構築すること。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	川西市ICT総合戦略の推進に向けた、「データ利活用とEBPM」に関する指導及び助言。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	川西市ICT総合戦略にデータ利活用やEBPMの視点を取り入れることで、計画を更に実効力のあるものに更新していくための知見が得られた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	計画そのものの改訂については、市のICT総合戦略会議の議論の中で進めていく必要があるため、今回は実施していない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 職員がアドバイザーと直接意見交換を行うことができる場であったため、アンケート等は実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	情報政策部門がデータ活用やEBPMの考え方を理解した上で市のデジタル・トランスフォーメーションを進めることで、デジタル・ガバメント実行計画に基づく市民サービスの向上と行政運営の効率化を着実に実施する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

